

第4 法人部門

(1) 運営方針

事業団の経営理念、経営方針を受けて、事業団職員一人ひとりが最大限のパフォーマンスを発揮することにより組織の活性化を図り、自立的な法人運営の実現に向け、組織経営の強化と利用者本位の事業団を目指します。

今年度は、昨年度実施した職員の業績や能力等を適正に評価するための人事考課制度をもとに、努力成果を処遇に反映する事業団独自の人事給与制度を本格的に実施することや、南西部方面地域療育センター（仮称）の設置・運営法人に選定されたことを受け、平成25年度開所に向けて開設準備を進めます。

また、職員の人材育成と組織の活性化をめざし、役割ごとに応じた「階層別研修」を実施し、より効果的な職員育成体系を整備します。

(2) 平成23年度における重点的な取組み

ア 事業団独自の人事給与制度を本格的に実施し、職員の努力成果を適正に処遇に反映することにより、人材育成と組織の活性化を図ります。

イ 南西部方面地域療育センター（仮称）の設置・運営法人として選定されたことを受けて、平成25年度開所に向けて準備を進めます。

ウ 利用者サービスの向上に活かす広報活動を展開し、職員の意識改革を行いながら、専門性を備えた「親しみやすい事業団」をアピールします。

(3) 事業内容

ア 新たな人事給与制度の本格的実施

昨年度導入している人事考課制度に基づき、人事給与制度を本格的に実施します。職員の業績や能力等を適正に評価し、努力成果を適正に処遇に反映させ、人材育成と組織の活性化を目指します。

イ 研修計画

管理職を対象に、人事考課制度の目的と仕組みの理解及び客観的かつ適正な考課方法の取得を目的とした人事考課者研修を実施します。また、「階層別研修」を実施し、より効果的な職員育成体系を整備します。

(ア) 階層別研修

研修名	対象者	目的・内容
新採用職員研修	平成23年4月採用職員	業務知識の習得と基本的なビジネススキルの習得
フォロー研修	平成23年4月採用職員	ビジネススキルの強化と業務の振返り
階層別職員研修	各階層（1級から6級）の職員	各階層において必要となる役割及びスキルの習得

新任管理職研修	新たに管理職となった職員	管理職としての役割及び必要となるスキルの習得
労務管理研修	入職10年以上のベテラン職員及び課長職	労務管理の基礎知識とマネジメントの習得 管理職としてのメンタルヘルス・ハラスメントの知識習得
内定者研修	次年度採用予定者	現場実習

(イ) 全体研修

研修名	対象者	目的・内容
人権研修	全職員	全職員に共通して必要な知識等の習得 (必須)
個人情報保護研修		
救急救命研修	全職員	必要に応じて実施
顧客満足度向上・クレーム対応研修		
メンタルヘルス研修		
ハラスメント研修	管理職を除く 全職員	

(ウ) 人事考課者研修

研修名	対象者	目的
人事考課者研修	管理職	人事考課制度の理解と考課スキルの習得

ウ 南西部方面地域療育センター（仮称）の開設準備

横浜市の整備計画に基づく南西部方面地域療育センター（仮称）の設置・運営法人として選定されたことを受けて、平成25年度開所に向けて準備を進めます。

これは、民設民営方式による設置・運営となり、今年度は実施設計及び建築着工を目指します。

エ 効率的な事業団経営

厳しい財政状況を踏まえ、職員一人ひとりに費用対効果やコスト削減の意識を浸透させ、より効率的な経営を推進します。また、引き続き超過勤務の削減、契約事務の見直し等による経費支出の削減や、事業収入や資産運用収入による財務状況の改善を図ります。

オ ワークライフバランスの検討・試行

職員が仕事と家庭等を両立し、豊かな社会生活をおくることより、個々の能力開発や利用者サービス向上の活力に繋がるよう、継続して働きやすい職場環境の構築を目指して、引き続きワークライフバランスの検討・試行を行います。

カ 広報活動の活性化

事業団・各センターの利用案内や事業の内容について継続的にPRし、ホームページのリニューアル等を検討するなど、利用者サービスの向上に活かす広報活動を拡充します。引き続き、広報委員会の活動をより活性化させ、職員の意識改革を行いながら、専門性を備えた「親しみやすい事業団」をアピールします。

キ 「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2011」実施事業

今年度で10回目となる参加体験型のイベント「ヨッテク」を実施します。

最新の各種福祉機器の体験やアトラクションをとおして、高齢者・障害者だけでなく、多くの市民にわかりやすく情報を発信し、本事業団の役割と活動内容を広く市民に紹介します。

今年度は、関係機関との協働をより一層意識して取り組み、平成24年度には総合福祉イベントへの変換を図ります。

○実施期間：平成23年7月22日（金）～23日（土）の2日間

○実施場所：パシフィコ横浜（みなとみらい地区）展示ホールD

ク 社会貢献活動（CSR）の実施

新たな法人経営の視点として、地域社会における一団体として社会的責任を果たすことが市民に問われる時代であることをふまえ、ペットボトルキャップの回収による小児用ワクチン代の寄付や大規模災害等の被災地への募金活動、地元食材の活用による地産地消の取組み等、本事業団が横浜市から委託された事業以外に、社会の構成員として自主的に社会貢献活動に取り組みます。